



The Bamboo Shoots

No.179

連絡先:大和高田・リズモー都市友好協会
TEL:0745-22-1101

～地方季刊新聞～
大和高田・リズモー都市友好協会 発行
2019年 秋・冬号

<http://www.city.yamatotakada.nara.jp/lismore/>

このバンブーシューツ（筍）が、大和高田市とリズモー市の情報交換に役立つ立派な竹に成長しますように。



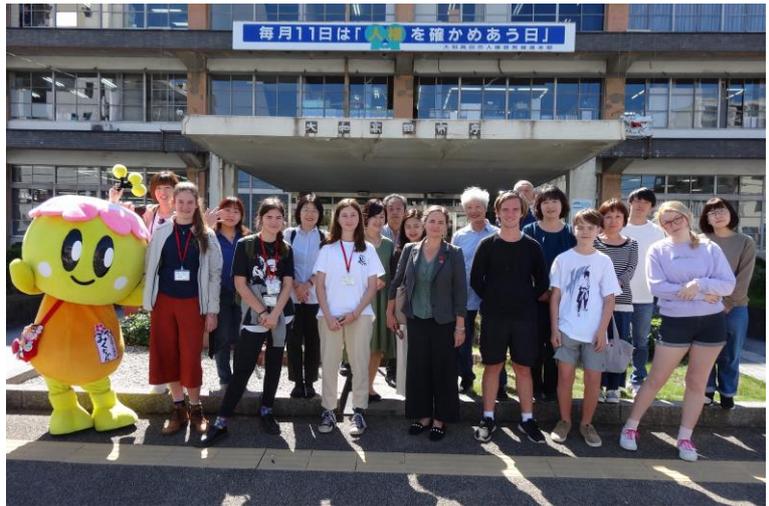
リズモー派遣学生が来高

2019年9月27日～10月9日

リズモー市より13歳～17歳の派遣学生6名と引率教諭の計7名が今年度も来高されました。

市内の小・中学校および高校をはじめ市内施設を見学し、広島へも平和学習に行きました。

滞在中はホストファミリー先でのホームステイで過ごし、日本の文化にもたくさん触れて、2週間の滞在を経て、帰国されました。



リズモー交換留学生アンケート

1) 大和高田市の第一印象は？

・街がとても大きくて、少し驚いた。しかし、徐々に大きな建物や街並みにも慣れてきた。

- ・思っていたより街が栄えており、みなさん、とても良い人だった。そして、自分たちの家族のことや文化について私たちに楽しく紹介してくれた。
- ・素晴らしい場所だったし、綺麗な街だった。地域の人々との交流を楽しめた。
- ・非常に市民中心の一体感のある街だと思った。私たちがリズモーから到着した際も、皆さんとても親切にしてくれた。想像していたよりも、これからもっと栄えていく街だと思った。
- ・大きくて、賑わっていた。





2) 文化やマナーで驚いたことは？

- 参加した茶道にはたくさんの細かな所作があり、礼儀作法もあって驚いた。
- 私のホストファミリーはユーモアのセンスがあって、オーストラリア人と、とても似たところがあって驚いた。しかし、オーストラリア人の方が明らかにカジュアルであった。
- 大和高田市の文化は、見ていてとても素晴らしい所もあった。
- 16歳で女の子は結婚できるが、車の運転はできないとわかった。
- 食事前に皆で「いただきます」と言ったり、お寺に入る前には、特別な順序で手を洗って清めてからお祈りをしていた。
- 家に入る前には、靴を脱ぐこと。

3) ホストファミリーについて一番印象に残ったことは？

- 私の家族はみんな、色々な仕事をこなし、お父さんは、朝4時30分に仕事に出て夜遅くまで戻ってこないし、お母さんは、夕食の準備をし、お父さんの会社の会計簿や、家計簿をつけてやりくりしていた。子供達は早くに学校に行って、遅くに帰ってきてからも一生懸命勉強していた。
- 私のホストマザーは、英語を流暢に話してくれたので、家族と容易に打ち解けられたし、みんな平等に接してくれた。また、とても穏やかで簡単に人を傷つけたりもしなかった。
- とても親切で優しくかった。

- 私のホストファミリーは、皆さん本当に親切で、心の広い人たちだと思った。何をやるにしても私を仲間に入れてくれて、いろいろな所へ連れて行ってくれ、実に楽しかったし、私のために素晴らしい日本料理を用意してくれた。本当の家族のように歓迎してくれた。私の日本の経験を本当に素晴らしい思い出深いものにしてくれた。
- 私をととても歓迎してくれたし、家族の一員として扱ってくれた。でも彼らは、必ずしも何でもやってしまうのではなく、家事などはさせてくれた。そのことは私を本当の家族のように感じさせた。

4) 広島は、どうでしたか？ 広島の印象は？

- 広島は楽しかったが、必ずこれからも思い出すであろう悲しい経験となった。私たちは、平和記念資料館で広島の悲しい歴史を学習し、核兵器廃絶の広島の願いを直接見て、広島公園をガイドしてもらい最終の目的地となる広島ドームにたどり着いた。
- グループのきずなが深まる素晴らしい経験だったと思います。目で確かめることも、私たちにとって大切なことだと思います。
- 町は明るくて美しく、活気があった。爆弾の重い爪あとは、外見とは全く違っていた。
- 広島での経験は楽しかった。とても悲しかったし、気が沈む思いがした。
- 広島では楽しく過ごしたし、良い所だった。平和記念資料館は悲しい所でもあり、心打たれる所でもあった。一度訪れた後、しばらくは、もう二度と行きたくないという思いがしている。

(英文は原文のとおりです)



ホストファミリーアンケート 2019

1) 留学生を受け入れて戸惑ったことは？

- どんな食べ物が口に合うかわからず、戸惑った。
- コミュニケーションをはかりにくい時もあった。
- 遠慮していたのか、洗濯物をなかなか出さなかった。
- 少食だけど、お菓子はよく食べた。
- 家族は英語が話せないなので、最初はコミュニケーションが難しかった。
- 携帯の翻訳機能を使ったり、英語の話せる友人に家に来てもらったりした。
- 約 30 年前から、オーストラリアからの留学生を 11 名受け入れさせてもらった。老夫婦なので、同世代の子がおらず、寂しいのではと心配でしたが孫達と仲良くしてくれてお互いに日本語のカタコト、英語のカタコトでやり取りをして楽しんでくれた。オーストラリアでも日本食が気に入られてきて、食事では困らなかった。

2) 文化（習慣）の違いを実感したことは？

- お風呂に毎日入らなかった。
- 日本はとても蒸し暑いようで、ずっと半袖、短パンで、気候の違いを実感した。
- 電気を消す、ドアを閉めるなどの習慣がない為か、付けっぱなし、開けっ放しが続いた。
- シャワー時間は、ほんの数分だった。
- お箸を上手に使って食べ、お米も食べてくれたので、食生活は特に違いを感じず、日本の食材をよく知っていることに驚いた。
- 洗濯物を頼まれる回数が少なかった。
- オーストラリアでは朝食はシンプルですが、夕食は家族揃って食べるらしく、うちは家族の帰宅時間が遅いので、待たせてしまったり揃えない時もあった。オーストラリアでは、夕方 4～5 時頃にはお店が閉まっていき、慌てたことを思い出した。



3) 一緒に過ごして楽しかったこと、嬉しかったこと、困ったことは？

- 京都観光やショッピング、公園で遊んだりしたことや家でゲームをしたこと。一緒に過ごした時間は全て楽しかった。
- 私達家族のために、パプロバというお菓子を作ってくれたり、いつも体調を気遣ってくれて嬉しかった。
- よく腹痛をおこしていたので、心配だった。
- 最初は通じなかった会話が、だんだん理解出来るようになってきて、嬉しかった。
- 日本を含め、多くの国に移住、旅行経験のある留学生で、写真を見せてもらいながら、色々な話が聞けて楽しかった。
- お喋りをしながら笑ったり、くつろいでいる姿を見ると非常に安心できた。
- 私達が英語を話せない中、ずっとリビングにいて下手な英語を聞き取り、会話をしてくれようとして、とても楽しい時間を過ごせた。
- 日本的な物や場所が好きなようで、お寺や神社も喜んでくれてこちらも楽しかった。
- 京都観光に行って道を尋ねた方に、とても親切にしてもらった。また大和高田市の方たちが大人も子供も暖かく迎えてくれたことが、嬉しい。
- 孫たちが留学生の前でケンカをしている時はいつでも優しい態度を示してくれ、最後にはケンカなどなかったように、一緒に楽しく遊んでくれた。
- 今回ホストファミリーとして、受け入れさせていただいたことは、非常にいい勉強になり、人生の財産になった。
- 私の娘も海外での滞在時にホストファミリーが暖かく受け入れてくれた。今回はそのお返しとして受け入れることが出来て良かった。



4) また機会があれば、ホストファミリーを引き受けていただけますか？

- 状況が許すようであれば、受け入れても良いと思う。
- その時の状況によっては。
- 得るものも大きいのですが、まだ当分の間は他に優先させたいこともあるので。
- 短い間だったが、家族全員とても楽しい時間が

過ごせた。でも、その分別れが寂しく今は受け入れを考えられない。

- 行き届かないかもしれないが、可能な限り力になればと思います。昼食の用意をしなくて良かったので助かった。
- 一度巣立った娘も、この機会に帰ってきてくれて、家族揃って楽しく受け入れることができた。また、是非引き受けたいと思う。

The Bamboo English Class Happy Days with Claudio!2019



バンブーイングリッシュは、4年前に大和高田・リズムー都市友好協会の主催で国際交流事業の一環としてはじまりました。当クラスは大和高田市内在住の4歳から12歳の子どもたちを対象に月2回開講しています。講師のクラウディオ・ロペスさんと協会会員と一緒に五感を使って、英語で歌ったり踊ったりして楽しんでいます。また、日常生活に親しみのあるテーマを通じて、簡単な英会話を楽しんでいます。

英会話に自信を持とう！

英語講師

クラウディオ・ロペス



私がバンブーイングリッシュに携わって4年目になりますが、バンブーイングリッシュに参加して学んでいる生徒たちの英語学習やコミュニケーション技術が上達してきていることをとても嬉しく思います。生徒たちは、とても熱心に学んでいて、英語を話す自信もついてきています。なので、私はこの大和高田市で、子ども達に英語を教えることが、大好きです。私たちは、楽しいレッスンを心がけているので、生徒たちは、以前よりも気持ちよく英語を話したり学んだりしています。
(英文は原文のとおりです)

